



こしがや景観まちづくりニュースレター vol.3

越谷市景観市民懇談会 第3回開催報告

開催日時：2010年10月9日（土）13:00～16:00
場所：中央市民会館4階 当日参加者：26人

越谷市景観市民懇談会第3回開催報告

Greeting—ごあいさつ—

□景観市民懇談会とは？

平成16年に施行された景観法に基づき、越谷市は平成21年に景観行政団体に移行しました。景観行政団体になると、景観法に基づいた、景観計画に策定をはじめ、地域の特性に応じた風景を守る様々な取り組みを市が独自に行うことができます。

そこで「越谷らしさ」をいかした良好な景観形成が実現できる景観計画の策定に向けて、この懇談会では、ワークショップ形式により、市内の各地区の景観の将来像や景観を構成する要素のデザインの基調、実現方策などを住民の方々と大学生が一緒にやって議論しました。

Review—第2回の成果—

第1回《8/21(土)》で地区ごとに選定したまち歩きルートを、各班で後日歩いていただきました。
※まち歩き実施日…8/22(日)～9/17(金)

第2回《9/18(土)》では、そのルートについて振り返りながら、各地区的モデルルートを提案し、それとともに地区の景観の目標像を話し合いました。

その結果、地区ごとに特徴がはっきりとしてきたため、地区コンセプトをグループ討論から導き出しました。またキーフレーズを兼ねて提案することにより、コンセプトに具体性を持たせ、今後の越谷市をどう発展させていくかというアクションプランの軸にしました。

Program—第3回プログラム—

13:00	開会のあいさつ&懇談会の説明
13:15	本日の趣旨説明
13:45	第2回WSの成果報告
13:55	前回の成果確認 地区別アクションプランの検討
14:35	休憩
14:45	グループ発表（住民代表）
15:05	市全体のアクションプランの検討
15:30	グループ発表（住民代表）
16:00	講評・閉会の言葉・解散式

Announce—今後の予定と連絡先—

越谷市景観まちづくりシンポジウム～市民が誇れる越谷の風景を考える～

日時：平成23年3月19日（土）13時～ 場所：越谷市中央市民会館4階15、16、17会議室
※本シンポジウムでは、景観市民懇談会の成果を発表し、今後の景観計画策定の方向性を考えます。

■越谷市都市整備部 都市計画課 TEL:048-963-9221 Eメール:10101100@city.koshigaya.saitama.jp

■日本大学理工学部 海洋建築工学科 ウォーターフロントデザイン研究室 TEL:047-469-5429 (教員:岡田智秀／学生:朽木・島田・川島・板里・瀬畠・大西・清永・馬上・平出)

■日本大学理工学部 土木工学科 都市環境デザイン研究室 TEL:03-3259-0679 (教員:大沢昌玄／学生:木村・本橋・江口・山口・田巻・佐藤・小林・佐々木・田中・海野)

Matrix—各地区の要素の抽出—

各地区ごとに、各地区を構成・進展させるために必要な要素をWS内で抽出しました。

このマトリックスは、今後の景観計画・まちづくりを策定し越谷独自の都市の確立に活かしてゆくために視覚化しました。

- 北地区：●
- 東地区：●
- 西地区：●
- 南地区：●

※地区別エリアはウラ面の地図参照

※縦軸:項目を実施する機関
横軸:実施された、実施する時期（時間軸）

公的

- 高い建物に規制を設ける
- 親水緑道の整備（出羽堀）
- シンポジウム開催

- 旧日光街道の歩道整備
- 須賀用水の整備
- サイクリングロードの整備

- 川跡周辺の電灯整備
- 親水公園の整備
- 元荒川の総合的な整備計画

過去

●自動車優先の街整備から
歩行者優先の街整備へ

- 自転車の移動は車の通りが多く、危険であるため整備が必要
- 河川の景色の美しさを保つため雑草の手入れする活動を行う

- 綾瀬川や古利根川での渡し舟
- 電柱の地中化
- 市民活動団体の横のつながり形成
- 貸し自転車を駅に設ける

未来

●住民一人一人が家の前の除草を行う

- 旧日光街道の説明版を設置
- 文化や特産物を広める
- 親子で参加できる活動を増やす

- 小学生で総合教育の一環として花を植えてもらう
- 自治体の社会貢献への啓蒙活動を行う

- 文教大学生が元荒川でイベントを行っていた
- 桜並木を地元の団体が守っている

- 元荒川をきれいにする会の活動を広める
- 条例とは別にまちのルールを作る
- レイクタウンで行われている草刈りをアリタキでも開催する

- 川跡を歩いて散策したくなるように花などを植え、多様性を持たせる
- 各家庭でゴミ拾いを実施
- 文教大学生と連携し越谷のPRを行う

- 神社と季節行事の繋がりを取り戻す
- まちの清掃美化運動の継続

- 子供たちに河川と触れ合ってもらい興味を持ってもらう
- 久伊豆神社の神社という形だけの景観ではなく祭りを行い、雰囲気を含めた景観を考える
- 行政からの景観に関する情報に住民が関心を持つ

民間

Voice—地区別アクションプランー ※アクションプランとは、市民主体の景観まちづくりの活動、官民共働による良好な景観形成に繋げていくものです。

東西南北でグループ分けをし、「地区キャッチコピー」として各地区的景観まちづくりの目標像とその具体的な内容を話し合い、それを内容を整理し枠内に掲載しています。

□北地区（桜井、大袋、大沢、北越谷）

●地区キャッチコピー

「川の北地区・文教の北地区・知性と教養の北地区」

人工物系 … 新しい道、橋 ストリートファニチャー

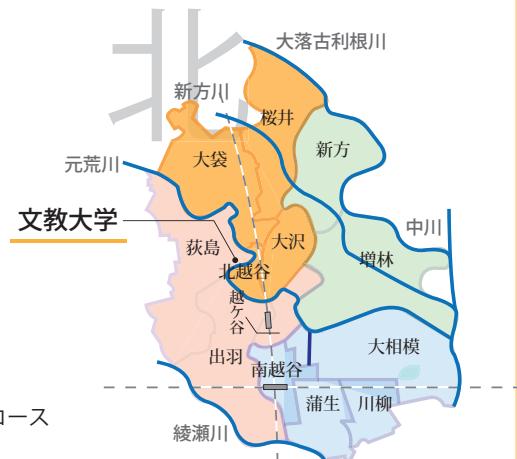
- ◇しめきり橋には歩道橋が必要
- ◇休憩スペースを設置（ベンチなど）

自然系 … 維持管理が必要

- ◇河川を活用したまち歩きコース
→渡し舟を復活させる

今後は…

- ◇渡し舟を盛り込んだ、元荒川を中心としたコース
 - ・体力がある人のコース
 - ・体力がない人のコース（ショートカット）



□西地区（荻島、出羽、越谷）

●地区キャッチコピー

「アメニティなコンパクトシティ

～あなたのこころに咲く越谷の花～

i 暮らしの景観（日常）

ii 憇いの景観（非日常・レジャー）

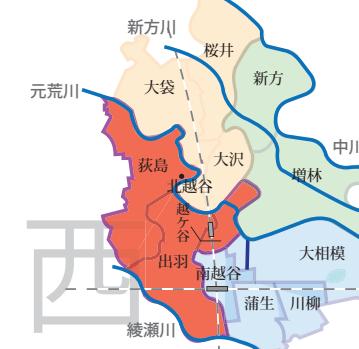
i 地区内住民でのルール作り

- ①景観ルートを巡るイベント開催
- ②ルールを作り、新住民に意識させる
- ③実際に市民に参加してもらう

ii 大吉調整池

- ◇ハーフマラソンコース
景観マラソン
- ◇コミュニティバスで周遊
- ◇見える景観（山など）のポイントを示す
→掲示板に写真を！

大落古利根川



今後は…

- ◇イベントは行われているが、外部へのPRが足りない
- ◇各家・個人で意識する

Impression 参加者の感想

景観について従来の認識が払拭しました。新しい出会いと学生の新鮮な意見が貴重でした。

改めてWSが重要ではないかと感じた。今後、この意見がどのように形となっていくのか楽しみである。

夢が夢で終わらせないように今後、現状分析していく機会が必要かと思いました。夢ばかり語っていても、現実の変化に対応できないと思います。

今までに出された意見を取りまとめて市民へアピールする仕組みを考え具現化してもらいたい。

地元に愛着を持てるような街づくりに少しでも協力していきたい。

□東地区（新方、増林）

●地区キャッチコピー

「緑や河川を活かした明るいコミュニティづくり

～水や緑を守り、今後に繋げるためにできる事～」

緑系

- ◇自宅の除草
- ◇河川の雑草刈り
- ◇休耕田を耕す
→キレイにしてイベントを！

水系

- ◇河川沿いのサイクリングロード
- ◇「元荒川をきれいにする会」の活動を広める

コミュニティ系

- ◇親子で遊べる公園づくり
- ◇花見や花火など誰でも参加できるイベント空間の整備
- ◇新住民も活動しやすい地域づくり

今後は…

- ◇一人ひとりができる事をする → 市全体へ意識づける



□南地区（大相模、川柳、南越谷、蒲生）

●地区キャッチコピー

「ビックリーン元荒川プロジェクト～南地区独自の景観を残していくために～」

i 元荒川

- ◇元荒川を守る団体は存在しているが、つながりがなく非効率
→元荒川景観委員会の設立

iii 旧日光街道

- ◇整備すれば、立派な景観材料となる
- ◇「思い（歴史）はあるが、建物がない（歩道がない）」

ii アリタキ・久伊豆神社

- ◇両方を保全し、広域的に地域のポテンシャルを高めていく
→文化を守り、古き良き景観とする



今後は…

- ◇サイクリング施設の設置
- ◇i～iiiに訪れ、体験してもらう
- ◇レイクタウンと活性化していない市街地をサイクリングコースでつなぐ